

英国栈橋協会 2017 年度総会がトーキーで開催

6月16日から23日にかけて英国栈橋協会（National Piers Society）の年次総会が、英国西部のデボン州にあるトーキー（Torquay）で開催されました。トーキーは、温暖な気候に恵まれることから英国のリビエラと呼ばれ、海岸リゾートとして発展してきました。またアガサ・クリスティー生誕の地としても有名です。トーキー栈橋は、2014年に Piers 研究会の調査団が視察し、その概要はホームページに掲載しています。

総会には約40人の会員が出席し、Piers 研究会から井上副会長が参加しました。当日は活動報告や決算報告とともに新年度の計画が決定されました。現在、英国栈橋協会の会員は879で、積極的な働きかけが功を奏し昨年度から35の純増がありました。来年の総会は、ブラックプール（Blackpool）のセントラル栈橋150周年を祝して、6月8日から10日に当地で開催の予定です。

なお英国栈橋協会の詳細は、<https://www.piers.org.uk/> をご参照下さい。

